

報道関係者各位  
プレスリリース

平成27年4月10日  
株式会社インフォコーパス

インフォコーパス、IoT サービスプラットフォーム **SensorCorpus** に  
ローム社製センサーのプロファイル情報を格納、センサー情報の管理を効率化

ビッグデータ基盤事業と IoT (\*1) 事業を手がける株式会社インフォコーパス（本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:鈴木潤一、以下、インフォコーパス）は、ローム株式会社 (\*2)（以下、ローム）から同社製センサーの機能・性能等のプロファイル情報の提供を受け、これらを自社 IoT サービスプラットフォーム **SensorCorpus**（センサーコーパス）(\*3) のデータベースに登録しました。

インフォコーパスは 2014 年以来、クラウドベースの簡単・安価・セキュアな IoT サービスプラットフォーム **SensorCorpus** を開発し、サービスの運用を行ってきました。現在は、大手のデバイスメーカー、機器メーカー、エレクトロニクス商社等、複数のお客様の IoT ソリューションに組み込まれ、稼働しています。

今回インフォコーパスでは、ローム社製センサーのプロファイル情報を、**SensorCorpus** のデータベースに格納いたしました。具体的に提供を受けた情報は、センサー製品名、測定対象（温度、加速度など）、単位(°C、m/s<sup>2</sup> など)、測定可能範囲等の情報です。

**SensorCorpus** があらかじめこれらのセンサー・プロファイル情報を持つことにより、利用者の皆様は、様々な利便性を得ることができます。

第一に、**SensorCorpus** との接続が今まで以上に簡単になります。従来はセンサーを登録する際に、製品名以外にも、測定対象の種類や測定単位等、様々な情報を入力する必要がありました。今後は、センサーの接続にあたって、製品名を入力するか製品リストから選択するだけで済み、入力が簡略化できます。

第二に、データの可視化にあたって、センサーの仕様に合わせた適切なダッシュボードを選択できるようになります。グラフの単位、測定範囲、粒度等をクラウドが自動判定することで、最適なメーターやグラフを推奨したり、絞り込んだりすることが容易になります。

第三に、**SensorCorpus** 上で、用途に合わせてさまざまな種類のセンサーを検索し、組み合わせることが簡単に行えるようになります。設置環境に合った実績のあるセンサーの組み合わせなどをレコメンドすることで、例えば農業向けなら、A 温度センサーと B 日照のセンサーを組み合わせるといった、センサー利用者の視点での情報提供を実現することができます。

インフォコーパスでは、これらのプロファイルを利用した機能を、2015 年 6 月末にリリース予定の **SensorCorpus Enterprise** に、順次、搭載していきます。

製品名	型番	製造元	説明	測定型	単位	意味
高感度温度計A	T001B-5532	A社	温度計	T	#	単位なし数値
温振ダブルセンサー	TV22348111	A社	湿度計	H	%	パーセント
リングガイガー	PGC001-W	A社	超音波距離センサー	US	dB	エネルギー比
圧力温度計	DW2014-B-AC	B社	圧力センサー	PA	C	温度
エリア検知センサー	FK81-DR4	B社	光センサー	PD	m	長さ
傾斜センサー	BT56-F3	C社	ジャイロセンサー	AV	g	重さ
開閉感知センサー	AW14-934	D社	放射線カウンター	RC	m/s	速度
赤外線距離センサー	PW37-43R	D社	3軸加速度センサー	A3	m/s <sup>2</sup>	加速度
電力監視センサー	VW49-25U	D社	人感センサー	HD	G	重力加速度
水質測定計	JV4-RY6	E社	CO <sub>2</sub> 濃度センサー	MC	hPa	圧力
変位センサー	692-SM-P2	F社	開閉センサー	FD	deg	度10進法
測長センサー	187-GT-K	F社	温度差センサー	TD	deg/s	角度/秒
...	...	...	動作センサー	MD	lx	照度
...	...	...	騒音計	SP	ppm	濃度
...	...	...	照度計	I	Bq	放射エネルギー
...	...	...	GPS測位計	GL	uSv/h	被ばく量
...	...	...	...	...	...	...

**センサー情報をサービス視点で整理 → 検索可能に**  
**測定対象、単位、測定可能範囲、単位変換、測定頻度、動作環境、製造番号、製造会社、...**

さらにインフォコーパスでは、これらセンサー・プロファイリングのインタフェースの公開や国際標準化を積極的に推進してまいります。第一弾として、本年4月10日、バッテリーレス無線発信技術の国際規格団体である EnOcean Alliance (\*4) において、本プロファイリング技術の発表を行います。

今後ともインフォコーパスでは、センサー・プロファイリングを推進することにより、IoTの普及・拡大に貢献してまいります。

(\*1) IoT : Internet of Things の略。モノのインターネット。コンピュータなどの情報機器だけでなく、全てのモノにセンサーと通信機能が実装され、インターネットを介して情報交換や制御ができる仕組みを指す。類似した概念に M2M (Machine to Machine) 等がある。

(\*2) SensorCorpus : 株式会社インフォコーパスが開発した、簡単・安価・セキュアな IoT サービスプラットフォーム。利用者は、センサーのデータをクラウド上にあるプラットフォームに送信し、蓄積し、ビジュアル表示・閲覧、ダウンロード等を行えるほか、センサー、ゲートウェイ等の認証や管理を行うことも可能。最先端の NoSQL 技術をベースに構築。

(\*3) ローム株式会社 : 京都市右京区に本社を置く大手電子部品メーカー。東証上場、証券コード 6963。



(\*4) EnOcean Alliance : バッテリーレス無線発信技術の特許を持つ国際規格団体。ドイツに本社があり、全世界から 350 社以上の企業が参加している。日本ではローム株式会社が主幹メンバーであるプロモーターを務めており、インフォコーパスはアソシエート・メンバーになっている。

【株式会社インフォコーパス】

インフォコーパスは、今後予想される多種多様なデータを蓄積し、また容易に利用できる先端のインフラ・アーキテクチャーを提供することで、データ活用時代の新しい知の創造と産業・生活・文化の基盤を支えてまいります。

<http://infocorpus.co.jp>

【本件に関するお問い合わせ】

担当：近藤

Tel : 03-6416-1365

Email : [contact@infocorpus.co.jp](mailto:contact@infocorpus.co.jp)